

2025 年度「AJI 研究高度化推進プログラム」募集要項

本制度はアジア・日本研究所における研究成果創出を加速させることを目的とするものであり、「AJI キャリア・コリドー（キャリアパス形成力開発）プログラム」の一環として実施する、①英文論文作成補助、②国際研究集会企画・開催補助、③国際共著論文作成補助の3つで構成される。

AJI キャリア・コリドープログラムで雇用される AJI リサーチフェローや立命館アジア・日本研究機構の若手研究者の育成を主眼に置きつつ、アジア・日本研究所が本大学の他の組織（学部・研究科、研究機構）に所属する次世代のアジア・日本研究を担う人材の育成にも寄与することを目指すものである。

1. 募集について

助成対象期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 15 日に使用した論文投稿等にかかる費用を対象とする。（証票提出期限は 1 月 19 日とする）
申請期間	初回の申請期間を 2025 年 4 月 1 日（火）～4 月 21 日（月）正午とし、予算に残高がある場合は、 <u>以降は随時申請を受け付ける。</u> ただし、本プログラムの予算の関係上、年度途中で助成を終了する場合がある
申請資格	① 「AJI 研究成果発信推進プログラム」の下で雇用されている AJI リサーチフェロー ② 立命館大学の任期制助教、特任助教、研究助教、専門研究員、研究員
留意事項	本プログラムは、若手研究者の育成を目的とすることから、採択者は、プログラムの遂行にともない、アジア・日本研究所のアドバイスを受けることを前提とする。

2. 審査にあたって

アジア・日本研究所の所長および副所長が選考した上で採択者を決定する。

3. 申請手続き

所定の様式（申請調書）に基づき、申請する。申請にあたっては、研究者 DB から、過去 5 年間（2020 年 4 月 1 日～申請時点まで）の研究業績一覧（「著書」、「論文」、「研究発表等」）をダウンロードし、申請調書に添付してメールにて提出すること。

※研究業績一覧（「著書」、「論文」、「研究発表等」）は、研究者 DB の「データ出力・確認」の「研究業績書帳票出力」を選択して、出力すること。

※研究者 DB への登録がない者は自由様式の研究業績書を提出すること。

初回申請期間 : 2025 年 4 月 1 日（火）～2025 年 4 月 21 日（月）正午 ※メールでの申請。事務局からの受信確認メールを以って提出完了とする。 （事務局からの受信確認メールが届かない場合は、ご照会ください）。

申請書提出先・問合せ先：

立命館大学朱雀キャンパス 5 階 RARA オフィス 中川、上田

外線：075-813-8106、内線：510-2417

E-mail：aji-res@st.ritsumeai.ac.jp

I. 英文論文作成補助

1. 英文論文作成補助の目的・性格

アジア・日本研究所が発行する学術誌への論文投稿に際して必要となる書籍資料費、旅費などの費用を支援するプログラムである。

2. 助成内容

助成対象	“Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University” または “Asia-Japan Research Academic Bulletin” へ論文を投稿する予定の者に対し、書籍資料費や旅費などの助成を行う。
助成対象経費	書籍資料費、航空運賃実費、国内交通費、滞在費 などについて、200,000 円を上限として助成する。 ※ 航空運賃実費には、空港使用料、航空保険料、空港税、燃料サーチャージ、手数料を含む。 ※ 日当、宿泊費等は本学規程による。

3. 留意事項

過去にアジア・日本研究所の学術誌に英語論文を掲載した経験がない者は“Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University”または“Asia-Japan Research Academic Bulletin”への投稿を必須とする。また、アジア・日本研究所の上記学術 2 誌のいずれかに英語論文を掲載した経験がある者（※）は英文論文の投稿を必須とするものの、国際的ジャーナルであれば投稿先は問わない。

※ アジア・日本研究所の学術誌に掲載実績がある者は、掲載年度、Vol. 情報を申請書に記載すること。また、投稿中の場合も、その旨申請書に記載するものとする。

II. 国際研究集会企画・開催補助

1. 国際研究集会企画・開催補助の目的・性格

国際的なシンポジウム・研究会・セミナー等の企画・開催を通じて研究集会を運営する力量を高め、かつ、海外の研究者との国際的な交流を図り自身の研究分野における人的ネットワークを形成すること等を目的とし、かかる費用を助成するプログラムである。

2. 助成内容

助成対象	“Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University” 等へ論文を投稿する予定の者が、海外研究者を招聘/自身が海外へ渡航して国際シンポジウム・研究会・セミナーなどを開催する際の費用を助成する。 ただし、助成の対象となるのはアジア・日本研究所が主催あるいは共催する国際シンポジウム・研究会・セミナーおよびそれらのセッションに限る。
助成対象経費	国内・海外で開催される国際的なシンポジウム・研究会・セミナーなどの開催にかかる費用（旅費（日当・宿泊費含む）、謝金、会場使用料、書籍資料費など）について、600,000 円を上限として助成する。 ※ 航空運賃実費には、空港使用料、航空保険料、空港税、燃料サーチャージ、手数料を含む。 ※ 日当、宿泊費等は本学規程による。

3. 留意事項

- (1) 国際研究集会の開催を通じて得られた知見は“Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University”をはじめとする様々な媒体を通じて積極的に発信すること。
- (2) 発表者の中から QS 世界大学ランキング学術評価の協力者を必ず推薦すること。

Ⅲ. 国際共著論文作成補助

1. 国際共著論文作成補助の目的・性格

海外の研究者と国際共著論文を執筆することを目的として、セミナー・研究会等を開催するために海外の研究者を招聘し、またその準備のために自身が渡航する際の旅費等を助成するプログラムである。

2. 助成内容

助成対象	“Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University” または “Asia-Japan Research Academic Bulletin” へ国際共著論文を投稿する予定の者が、共著者となる海外研究者を招聘して論文執筆のためのセミナー・研究会を開催する際に、事前の打合せのための海外渡航を含めて助成する。
助成対象経費	航空運賃実費、国内交通費、滞在費等について、400,000 円を上限として助成する。 ※航空運賃実費には、空港使用料、航空保険料、空港税、燃油サーチャージ、手数料を含む。

3. 留意事項

- (1) 過去にアジア・日本研究所の学術誌に英語論文を掲載した経験がない者は“Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University”または“Asia-Japan Research Academic Bulletin”への投稿を必須とする。またアジア・日本研究所の上記学術 2 誌のいずれかに英語論文を掲載した経験がある者は、英文論文の投稿を必須とするものの、国際的ジャーナルであれば投稿先は問わない。
※ アジア・日本研究所の学術誌に掲載実績がある者は、掲載年度、Vol. 情報を申請書に記載すること。
また、投稿中の場合も、その旨申請書に記載するものとする。
- (2) 共著者の中から QS 世界大学ランキング学術評価の協力者を必ず推薦すること。

以上